

A C E 同窓会会報

発行所
愛知工業大学情報電子専門学校同窓会
豊田市陣中町1-21-1
TEL (0565) 32-8181

会長挨拶



会長 川 佳 希

この春、ACEをご卒業になり、同窓会会員となりました皆様、改めてご卒業おめでとうございます。

井先生が式辞で激励の言葉とともに述べられた、「コミュニケーション能力」や「自信を持つことの大切さ」は、すでに社会経験を重ねた私たちにとっては、日々忘れてはならない事柄だと感じました。ぜひ、新社会人とともに初心をふり返り、一考いただければ幸いです。

今、皆様の仕事場や家庭、コミュニティの中で必要とされているのは、お互いを理解し合うことではないかと思えます。日本人特有の気遣いも大切ですが、それ以前に相手を理解し、本当にそれが相手にとってベストな対応なのか、今一度考え直してみる機会ではないでしょうか。

仕事場では、上司、先輩、同僚、関係する部署や関連会社の人たちと、腹を割って話ができるチームや仲間とすすめず。壁にぶつかり、共に乗り越えてこそ気が知れた仲間になれるのではないかと思います。井先生が卒業式で述べられた「コミュニケーション能力（お互いを理解し合う）」、「一気を遣う」という言葉には、前向きに考えて進み、結果の良し悪しに関わらず、己が責任をもってやり遂げたことであり、自信につながるという意味があったのではないかと感じます。

さて、世情は政権交代によって民主から自民へと代わりました。景気回復の期待感からいかに市況も動きを示しています。しかしその反面、二年前に起きた東日本大震災の復興は進展するどころか、人々の記憶から薄れつつあります。このような時代だからこそ、自分の目で見て耳で聞き、手で触れる「現地・現物」と、自らの手で得た情報を判断できる知識を養うことが必要だと感じます。そして、自らが設けた目標をやり遂げれば「自信、知識、経験」に

校長ご挨拶



校長 稲 垣 慎 二

なることを確信しています。最後に、新社会人となられた皆様には、私の好きな言葉を贈ります。「夢を描いて、夢に向かって、夢を喰う」。目標を立て、それに向かって一歩ずつ進み、達成感を持って、その経験は次の歩み「さらなる一歩」へつながります。昨日よりも良い明日、明日よりも良い明後日を目指し、共に歩んで行きましょう。同窓生皆様の一層のご活躍とご健康をお祈りいたします。

末筆ではございますが、井先生、二年間ありがとうございました。稲垣新校長先生、どうぞよろしくお願いたします。

ぞ、よろしくお願いたしました。少し自己紹介をさせていただきます。私は昭和四〇年に愛知工業大学を卒業し、ずっと母校の応用化学科に勤務してきました。専門は高分子材料化学で、主にゴム、プラスチックや接着剤の高機能、高性能化の研究を行っていました。皆さまのご専門とは距離があるようですが、「ものづくり」に貢献するという点では接点があると思います。ACEの入学式と卒業式には、平成十四年から学園側の立場で毎回出席していますので、二度ずつお会いしてきたことになりました。

した。また、今年は従来に比べると多くの保護者の方々に出席をしていただきました。本校の教育活動に対する関心の高さが表れます。CAD・CAM学科、宇井一希君の新入生宣誓は力強く、よし、やるぞという意気込みが伝わってきました。三月卒業生の資格取得数は一人平均五、六でしたが、二年間でこれを超える結果を期待しています。

同窓会会員の皆様、お元気ですか。去る三月十五日には第二十回卒業証書授与式を挙行し、六十六名の後輩が船出しました。皆様には、これらの新会員をよろしくお願いたします。本校は、平成二十五年度から学則を変更して単位制を取り入れ、新入生から本校での履修科目が他の専門学校などで認定されやすくなりました（他の専門学校の修得単位も本校で認定可）。また名古屋電気学園からは本校の奨学金をさらに充実していただくことができ、勉学の環境を整えました。専門学校事務部で皆さんをお世話くださった池山課長は少し体調を崩されて休養中ですが、川出事務局長が昨年五月より着任くださいました。小生は三月で校長を退任しますが、新しくお迎えした稲垣校長の下、専門学校がますます発展されることを願っています。いろいろありますがどうぞよろしくお願いいたします。

退任のご挨拶



前校長 井 研 治



平成二十四年度 卒業式

平成二十五年三月十五日、本校において卒業式が行われ、六十六名が卒業しました。
四月からは新しい環境で、仕事に勉学に励んでいらつしやることと思ひます。

また、毎年、同窓会より成績優秀者に対して贈呈される同窓会会長賞は、CAD・CAM学科の後藤大輝君が受賞し、賞状と記念品を市川佳希会長より授与されました。

なお、学科別の卒業生数は次の通りです。

- 高度情報処理学科 (三年制過程) 五名
- 高度情報処理学科 (二年制過程) 十三名
- 情報工学科 二十名
- 電子制御学科 九名
- CAD・CAM学科 十九名

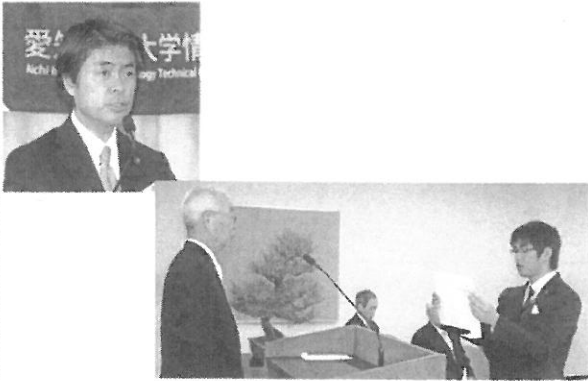


平成二十五年年度 入学式

平成二十五年四月八日に行われ、八十九名が入学しました。
太田稔彦市長をはじめ、ご来賓を多数お招きし、新入生代表としてCAD・CAM学科の宇井一希君が、希望にあふれた誓いの言葉を力強く読み上げました。新入生の皆さんには、自身の目標に向かって実り多き学生生活となるよう、頑張つてほしいものです。

なお、学科別の入学者数は次の通りです。

- 高度情報処理学科 (三年制過程) 十一名
- 高度情報処理学科 (二年制過程) 十三名
- 情報工学科 二十一名
- 電子制御学科 十三名
- CAD・CAM学科 三十一名

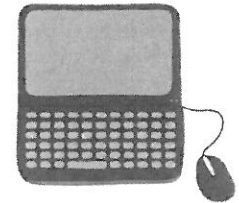


就職編入学状況

平成二十五年三月に卒業した学生は六六人でした。リーマンショック後、最高の五十人を就職させることができず、しかし、就職希望者も五十七名と多く内定率は八十七・七%とACEとしては今一歩でした。内定者の内、専門学校で習ったことを活かして就職できた割合は九十二%で、ほとんどの人が希望の職種に就くことができました。特に高度情報処理学科(三年制)、情報工学科情報ネットワークコース、電子制御学科は一〇〇%内定させることができました。

四月に後輩が入っていく会社もあります。良い子ばかりなのである時は厳しく、また、ある時はやさしく接してやって下さい。二五年度は、就職希望の学生が非常に少なく四二名です。新入社員が必要な会社がありましたら、早急に求人を取りますよう人事の方に話して下さい。よろしくお願い致します。

進学希望者は最終的に九名になりました。内訳は、編入学者八名、進路変更により短期大学へ行く学生一名です。特筆すべきことは、高度情報処理学科(二年制)の学生が、非常に頑張つてくれて豊橋技術科学大学電気電子情報工学課程へ編入学できたことです。
以下に就職・進学先を掲載します。



学 科	就職先・進学先
高度情報処理学科三年制課程	医療法人豊昌会豊田健康管理クリニック (株)ユニオンソフトウェアマネイジメント ツツキインフォテックノ東日本(株) 真和工業(株)
高度情報処理学科二年制課程	ユニオンフオメーション(株)(二名) 三井住友海上豊田さかえ代理店 愛知工業大学(二名) 豊橋技術科学大学 株日本ITソリューションズ(二名) 株スクロール360 株マイケイ 株マイケイ 株日本自動車短期大学 株マイケイ(二名)
情報工学科コンピュータグラフィックス 情報工学科情報ネットワークコース	愛知工業大学 アイシン・インフォテックス(株) 株レットイ 株アートテックニカル(二名) 株林シート(株) 株古屋学院大学(二名) 株マイケイ 株東洋陸運(株) 株AJ・Flat(株) 株ユニオンフオメーション(株) 株タニコーテック
電子制御学科	エフティテック(株) 株愛知工業大学(二名) 株泰成工業(二名) 株明和eテック 株竜製作所 株アイシン・エンジニアリング(株) 株市原エンジニアリング 株中国木材(株)(二名) 株山和電機(株) 株トヨタテックニカルデバイスロップメント(株)(二名) 株ビューテック(株) 株泰成工業 株エキスパートパワーシズオカ 株ソレックス(株) 株矢崎部品(株) 株豊幸 株セントラルエンジニアリング(株) 株アル・ティエンジニアリング(株) 株大三鋼機(株)(二名) 株エス・エヌ・ビー 株飯田設計
CAD・CAM学科	

学 科 だ よ り

高度情報処理学科
教授 村瀬 正敬

卒業生の皆様、お元氣でお過ごしでしょうか。平成二十四年度も滞りなく過ぎ、本学科からは三年制課程五名、二年制課程十三名が三月に卒業いたしました。就職活動では、この数年来続く厳しい就職戦線の中、学科をあげての支援と学生の真剣な取り組みにより、ほとんどの学生が本校で学んだ専門技術を生かせる企業へ就職することが出来ました。また、大学への編入を希望していた学生も、目標の愛知工業大学や豊橋技術科学大学へ無事に入學することが出来ました。卒業後も全員もその分野で活躍してもらえます。のと期待されます。

資格取得においても、検定試験の対策講座の内容やクラス分けなどの工夫をし、学生自身も互いに協力して勉強を頑張った結果、平成二十四年度卒業生の七十八%が本情報技術者に合格し、内二名が応用情報技術者に合格することが出来ました。また、データベースのベンダー資格である Oracle Mass ter Bronze にも卒業生の八十九%の学生が合格し、さらに三年制課程の学生四名が、上位の資格である Silver にも合格する学生も出てきました。現在在校する学生も、高いモチベーションを持って多岐にわたる資格取得などに期待できると思います。

では、教師用パソコンをサーバーとして、実習室の全ての学生用パソコン(二十四台)をネットワークで接続し、全員でシェアリングゲームをするというデモを行い、参加した学生達からたいへん好評を得ていました。

情報工学科

教授 河合 忍

卒業生の皆さん、元氣にご活躍のこととお慶び申し上げます。今年度の情報工学科からは二十名の卒業生が巣立ち、皆さんは仲間入りをしていました。今年度の就職活動も容易には進まず、二十社以上の企業を受験した学生が多かったです。この企業も採用してくれないのでは、自分なにかと自分を責めないで、自信を失って心が折れそうでした。それでも投げ出さず、活動を続けました。彼らからは意志の強さ、たくましさを感じます。この経験はきっと、今後の社会生活に役立つものだと確信しています。

卒業生の皆さん、お元氣ですか。平成二十四年度の卒業生は九名で、二名が愛知工業大学へ編入し、七名が就職しました。就職状況が厳しい中、全員が内定しました。次に、電子制御学科ではカリキュラムの一部を変更しました。近年、自動車、家電製品、産業機器等が広く使われています。開発に携わっている方もみえるのではないのでしょうか。組み込みシステムの制御にはマイコンが使われています。電子制御学科ではマイコンの授業で808マイコンを使用してアセンブラでプログラムを行う授業を行っています。C言語でプログラミングを行い、マイコン、マイコンを使い、C言語でプログラミングを行います。卒業生の皆様、お元氣ですか。卒業生の皆さん、お元氣ですか。卒業生の皆さん、お元氣ですか。

電子制御学科

教授 田中 正史

河合 忍 (hokai@ai-tech.ac.jp)
森島 茂樹 (morishima@ai-tech.ac.jp)

卒業生の皆さん、お元氣ですか。平成二十四年度の卒業生は九名で、二名が愛知工業大学へ編入し、七名が就職しました。就職状況が厳しい中、全員が内定しました。次に、電子制御学科ではカリキュラムの一部を変更しました。近年、自動車、家電製品、産業機器等が広く使われています。開発に携わっている方もみえるのではないのでしょうか。組み込みシステムの制御にはマイコンが使われています。電子制御学科ではマイコンの授業で808マイコンを使用してアセンブラでプログラムを行う授業を行っています。C言語でプログラミングを行い、マイコン、マイコンを使い、C言語でプログラミングを行います。卒業生の皆様、お元氣ですか。卒業生の皆さん、お元氣ですか。卒業生の皆さん、お元氣ですか。

CAD・CAM学科

教授 橋本 秀則

卒業生の皆さん、お元氣でお過ごしでしょうか。本校は昨年、設立二十周年を迎えました。また、本学科は平成四年の設立時に電子機械学科CAD/CAMコースとして設置されました。平成九年にCAD・CAM専攻として独立し、十五年が経ちました。当時、東海地方の専門学校で初めて三次元CADを導入するなど、機械系専門学校では先駆者として参りました。現在の技術ですが、当時は専用機でありながらトラブルも多く、またソリッド機能などは無く、作業してはいた事を懐かしさと共に改めて技術の進歩に驚かされます。本校の設備も二次元はケララムから頭脳ラピッドを、AutoCAD、そして三次元はケララムからCATIAへとニーズに合わせて変更してきました。しかしながらCADはあくまでも道具であるという認識は変えることなく、今後も取組んでいきたいと思っております。

卒業生の皆さん、お元氣でお過ごしでしょうか。本校は昨年、設立二十周年を迎えました。また、本学科は平成四年の設立時に電子機械学科CAD/CAMコースとして設置されました。平成九年にCAD・CAM専攻として独立し、十五年が経ちました。当時、東海地方の専門学校で初めて三次元CADを導入するなど、機械系専門学校では先駆者として参りました。現在の技術ですが、当時は専用機でありながらトラブルも多く、またソリッド機能などは無く、作業してはいた事を懐かしさと共に改めて技術の進歩に驚かされます。本校の設備も二次元はケララムから頭脳ラピッドを、AutoCAD、そして三次元はケララムからCATIAへとニーズに合わせて変更してきました。しかしながらCADはあくまでも道具であるという認識は変えることなく、今後も取組んでいきたいと思っております。

卒業生の皆さん、お元氣でお過ごしでしょうか。本校は昨年、設立二十周年を迎えました。また、本学科は平成四年の設立時に電子機械学科CAD/CAMコースとして設置されました。平成九年にCAD・CAM専攻として独立し、十五年が経ちました。当時、東海地方の専門学校で初めて三次元CADを導入するなど、機械系専門学校では先駆者として参りました。現在の技術ですが、当時は専用機でありながらトラブルも多く、またソリッド機能などは無く、作業してはいた事を懐かしさと共に改めて技術の進歩に驚かされます。本校の設備も二次元はケララムから頭脳ラピッドを、AutoCAD、そして三次元はケララムからCATIAへとニーズに合わせて変更してきました。しかしながらCADはあくまでも道具であるという認識は変えることなく、今後も取組んでいきたいと思っております。

卒業生の皆さん、お元氣でお過ごしでしょうか。本校は昨年、設立二十周年を迎えました。また、本学科は平成四年の設立時に電子機械学科CAD/CAMコースとして設置されました。平成九年にCAD・CAM専攻として独立し、十五年が経ちました。当時、東海地方の専門学校で初めて三次元CADを導入するなど、機械系専門学校では先駆者として参りました。現在の技術ですが、当時は専用機でありながらトラブルも多く、またソリッド機能などは無く、作業してはいた事を懐かしさと共に改めて技術の進歩に驚かされます。本校の設備も二次元はケララムから頭脳ラピッドを、AutoCAD、そして三次元はケララムからCATIAへとニーズに合わせて変更してきました。しかしながらCADはあくまでも道具であるという認識は変えることなく、今後も取組んでいきたいと思っております。

最新トピックス

【設備更新】

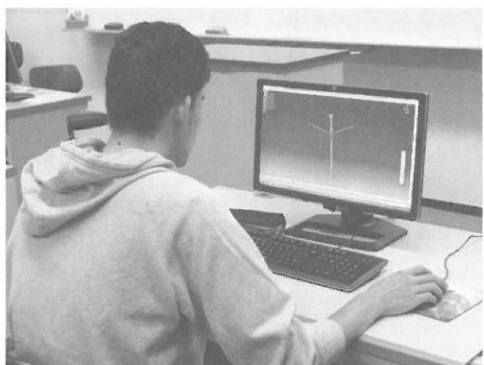
CAD実習室の設備を
更新しました

平成二十五年三月、CAD実習室(201C実習室)のWorkstation二十三台とプロジェクターを更新しました。

CATIAJGelumKenのバージョンアップも同時に行われましたが、これまでのようにアプリケーションソフトの起動に時間がかかることはありません。

また、ディスプレイもワイド画面の採用により、作業効率も向上しました。

このマシンは、CADの実習はもとより、WordやExcelなど多数の実習にも活用されます。プロジェクターの性能アップと相まって、後部席からも見やすくなり、学生からも好評です。



【春の行事】

「晴天」に恵まれリフレッシュ!

五月二十二日は、学生会主催の春の遠足としてナガシマスパランドへ出かけました。

絶叫マシンをはじめする学生、温泉でのんびり癒される学生、アウトレットモールで買い物を楽しむ学生など、日頃とは違った学生たちの活動的な様子が見られました。

特に一年生にとっては、慣れたきたクラスの仲間とより親交を深められたようです。

また、就職活動に忙しい二年生や三年生にとっては、日常生活を離れてリフレッシュする良い機会となりました。

卒業生のみなさんもご家族や友達と訪れてみてはいかがでしょうか。



【卒業生だより】

漫画家としての第一歩



平成十九年情報工学科コンピュータグラフィックスコース卒業の田村拓也さんが、週刊少年マガジン『マガジングランプリ』にて佳作を受賞されました。

田村さんは、本校在学中はCG作品の制作に励まれました。

しかし、卒業後は幼少の頃からの漫画家になる夢を果たすべく、アルバイトの傍ら漫画を描き続けていました。

そして、今回の受賞によって、プロの漫画家への第一歩を踏み出されたのです。

なお、作品はマガジンホームページで公開中です。

左記のアドレス、または検索エンジンにて『MGP』と検索して下さい。作品名は『ウィッグマン』です。

ぜひご覧ください。
<http://kc.kodansha.co.jp/SEP/02065/01/nf/mgp/>



新任のご挨拶

事務長 川出 善晴

同窓会会員の皆様、お元気ですか。また、今春、専門学校を卒業され、新しく同窓会会員となられた皆様、ご卒業おめでとうございます。新しい生活には、もう慣れましたか。新しいことばかりで、苦勞も沢山あるかと思いますが、新社会人として頑張ってください。そして、積極的にいろいろなことにチャレンジしてください。

当初百十九名で立ち上がった同窓会も、今では二千人を超す大きな組織になりました。

街中でバッタリ同窓生と出会うたり、担当者が偶然にも同窓生であったりすることがあります。世の中は広いようで狭いです。どこでどのような繋がりがあるか判りませんので、会員の皆様は、積極的に同窓会の懇親会や総会などの行事に参加して、輪を広げるとともに、旧交を温めるようにしてください。そして、たまには学校の方にも懐かしい顔を出して、近況や体談などを教えてください。

悩みごと相談も受付けていますよ。最後になりましたが、皆様のご活躍をお祈りしております。



二十周年記念行事

来年(平成二十六年)に本会は二十周年を迎えます。

それを記念し、平成二十六年八月九日(土)に記念行事を行い、懇親会を名鉄トヨタホテルにて開催いたします。

詳細は平成二十六年四月送付予定の案内状にてお知らせいたしますが、今後のご案内についてお願いがございます。案内状の発送、出欠の確認作業などの運営全般を、同窓会幹事代行サービス「笑屋」(株式会社三恵社)に委託することとなりました。

つきましては、懇親会についてのご連絡を「笑屋」より差し上げますので、ご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

<http://www.sankeisha.com/dousoukai/>